

第 38 回北信越国民体育大会

ライフル射撃競技実施要項



- 主 催** (公財)日本体育協会
福井県・新潟県・石川県・富山県・長野県
福井県教育委員会・新潟県教育委員会・石川県教育委員会
富山県教育委員会・長野県教育委員会
(公財)福井県体育協会・(公財)新潟県体育協会・(公財)石川県体育協会
(公財)富山県体育協会・(公財)長野県体育協会
- 共 催** 会場地市町・会場地市町教育委員会
- 後 援** スポーツ庁
- 主 管** (公財)福井県体育協会・福井県各競技団体



この事業は、競輪の補助金を受けて実施します。

3 ライフル射撃競技

1 期 日

平成 29 年 8 月 25 日(金)から 27 日(日)までの (3日間)

| 月 日 | 競 技 |
|----------|---|
| 8月25日(金) | 公 式 練 習 日 |
| 8月26日(土) | 50mライフル男子三姿勢120発競技(50m3×40M) 50mライフル女子三姿勢60発競技(50m3×20W) 10mエア・ピストル男子60発競技(10mAP60M) 10mエア・ピストル女子40発競技(10mAP40W) ビーム・ライフル少年男子立射60発競技(BRS60JM) ビーム・ライフル少年女子立射40発競技(BRS40JW) |
| 8月27日(日) | 50mライフル男子伏射60発競技(50mP60M) 10mエア・ライフル女子立射40発競技(10mS40W) 10mエア・ライフル少年男子立射60発競技(10mS60JM) ビーム・ピストル少年男子40発競技(BP40JM) ビーム・ピストル少年女子40発競技(BP40JW) |

2 会 場

「50m・10m・ビームライフル競技」

「福井県立ライフル射撃場」

〒918-8155 福井市杉谷町 49 番地 40-3 TEL 0776-38-6354

3 種別及び参加人員

| 種別 | 種 目 | 記号 | 監督 | 選手 | 参加 県数 | 計 |
|----------|---------------------------------|----|----|----|----------|----|
| 成年 男子 | 50mライフル男子三姿勢120発競技(50m3×40M) | A | 1 | 1 | 5 | 60 |
| | 50mライフル男子伏射60発競技(50mP60M) | B | | 1 | 5 | |
| | 10mエア・ピストル男子60発競技(10mAP60M) | C | | 1 | 5 | |
| 成年 女子 | 50mライフル女子三姿勢60発競技(50m3×20W) | D | | 1 | 5 | |
| | 10mエア・ライフル女子立射40発競技(10mS40W) | E | | 1 | 5 | |
| | 10mエア・ピストル女子40発競技(10mAP40W) | F | | 1 | 5 | |
| 少年 男子 | 10mエア・ライフル少年男子立射60発競技(10mS60JM) | G | | 1 | 5 | |
| | ビーム・ライフル少年男子立射60発競技(BRS60JM) | H | | 1 | 5 | |
| | ビーム・ピストル少年男子40発競技(BP40JM) | I | | 1 | 5 | |
| 少年 女子 | ビーム・ライフル少年女子立射40発競技(BRS40JW) | J | 1 | 5 | | |
| | ビーム・ピストル少年女子40発競技(BP40JW) | K | 1 | 5 | | |

4 競技上の規定及び方法

(1) 準拠規定

各種目とも「ライフル射撃競技規則（最新版）」によるほか、本要項による。

(2) 服 装

服装は、競技規則に定められたもので、競技開始前に検査を受けなければならない。検査の要領は、代表者会議において指示する。

(3) 銃器・弾薬

ア A・B・Dの出場者は、銃の所持許可証、火薬類譲受許可証、射手手帳、会員証を、C・E・F・Gの出場者は銃の所持許可証、射手手帳、会員証を、H・I・J・Kの出場者は射手手帳、会員証を携帯し、銃器検査の際に提示しなければならない。

ただし、省庁装備銃に関しては、所属長等の発行する携帯証明書をもって所持許可証に代えることができる。

イ 全ての銃器は、公認シール（公認カード）が貼付されていなければならない。各自が携行し競技開始前に検査を受けなければならない。

ウ 銃器は、各自携行し競技開始前に検査を受けなければならない。

(4) 使用標的

| | | | |
|---|------------|---------|-------------------|
| ア | 50mライフル | (A・B・D) | 電子標的 (MEYTON 社製) |
| イ | 10mエア・ライフル | (E・G) | 電子標的 (MEYTON 社製) |
| ウ | 10mエア・ピストル | (C・F) | 電子標的 (MEYTON 社製) |
| エ | ビーム・ライフル | (H・J) | B R公認標的装置 |
| オ | ビーム・ピストル | (I・K) | B R (デジタル) 公認標的装置 |

(5) 抗 議

抗議は、ライフル射撃競技規則のGTR6.16により処理する。

(6) 失 格

『ライフル射撃競技規則』にいう「失格条項」に抵触した選手は失格とし、危害予防・円滑な大会運営にかかる競技役員等の指示に従わないものは退場させる。

(7) 競技方法

【別表】のとおりとする。

5 予選方法

県大会は、各県ごとに細則を決めて実施すること。

6 参加資格、所属県及び選手の年齢基準

総則5に定めるもののほか、次による。

(1) 大会に参加する監督・選手は、当該年度の（公社）日本ライフル射撃協会会員登録者であること。

(2) 監督は、原則として（公社）日本体育協会公認スポーツ指導者制度に基づく公認ライフルコーチ、公認ライフル射撃上級コーチのいずれかの資格を有するものとする。

なお選手と監督の兼任はできない。なお、交代（棄権を含む）があった場合は、大会終了後、第38回北信越国民体育大会実行委員会の指定する日までに、別途、所定の手続きにより参加申込情報を修正すること。

(3) 少年種別ビーム・ライフル種目、ビーム・ピストル種目に参加できる選手には、平成14年4月2日から平成15年4月1日までの間に生まれた中学3年生を含むものとする。

- (4) 年少射撃資格者が参加する場合は、当該空気銃の所持許可を受けている年少射撃監督者が帯同すること。

7 参加得点

この大会に参加した県に、第72回国民体育大会の男女総合成績・女子総合成績の参加点10点が与えられる。ただし、本大会への出場権を獲得しながらこの権利を放棄したときは、参加点は与えられない。

8 表彰

各種別の第1位から第3位までに表彰状を授与する。

9 参加申込方法

- (1) 所定のWebページ（国民体育大会参加申込受付窓口）へアクセスし、必要事項を入力の上、所属県体育協会を通じて、平成29年8月3日（木）正午までに申込み手続きを完了すること。
- (2) 締切期限以降は所定のWebページ（国民体育大会参加申込受付窓口）へアクセスできなくなるので、締切期限を厳守すること。

10 選手の変更

参加申込締切後の選手交代は、特別の事情がない限り認めない。ただし、特別の事情（疾病、傷害等）で選手を交代する場合は、所定の様式により、実行委員会あて届出を行い、代表者会議で認められなければならない。

- (1) 提出期限 代表者会議まで
- (2) 提出先 第38回北信越国民体育大会実行委員会事務局
〒918-8027 福井市福町3-20 福井県営体育館内
TEL 0776-34-2719 FAX 0776-34-2742

なお、交代（棄権を含む）があった場合は、大会終了後、第38回北信越国民体育大会実行委員会の指定する日までに、別途、所定の手続きにより参加申込情報を修正すること。

11 参加上の注意

- (1) 参加選手はもちろん、監督は危険防止について細心の注意を払うこと。
- (2) 大会参加者は「競技規則」を遵守すること。（監督は「規則集」を携行すること。）
- (3) 銃器・弾薬の携帯、運搬、保管については、各自十分注意すること。
- (4) マット、ラグなどの敷物は、射撃場に備え付けのもの以外の使用は認めない。私物のニーリング・ロールは、用具検査時に検査を受けたものであること。
- (5) ビーム・ライフル、ビーム・ピストル及びそれらに使用するバッテリーは各自持参すること。
- (6) 選手は用具のルール適合に責任を持ち、公式練習も含む大会期間中に用具検査場で適合状況について、任意競技前検査として測定、確認をすることができる。
- (7) 射座については、抽選により決定する。
- (8) 射座及び会場の清掃・整頓は、参加者全員が協力して実施すること。

12 その他

- (1) 公式練習

日 時 平成 29 年 8 月 25 日(金)午後 1 時から午後 4 時まで

(2) 代表者会議

日 時 平成 29 年 8 月 25 日(金)午後 12 時から

場 所 福井県立ライフル射撃場

〒918-8155 福井市杉谷町 4 9 番地 4 0 - 2 Tel 0776-38-6354

(3) 開始式

日 時 平成 29 年 8 月 26 日(土)午前 9 時

場 所 同上

(4) 第 72 回国民体育大会の北信越ブロック代表数は、次のとおりである。

| | | | | | | |
|-----|----------|---------|----------|----------|---------|----------|
| 種目 | 50m3×40M | 50mP60M | 10mAP60M | 50m3×20W | 10mS40W | 10mAP40W |
| 代表数 | 2 | 3 | 1 | 3 | 3 | 1 |
| 種目 | 10mS60JM | BRS60JM | BP40JM | BRS40JW | BP40JW | |
| 代表数 | 3 | 2 | 1 | 2 | 1 | |

【別表】

| 種目 記号 | 種 目 | 選手 数 | 使用銃 | 射距離 | 標的 | 本射及び試射弾数 | 競技時間 | 射撃方法 (姿勢) | 満点 | | | | | |
|----------|----------------|--------------------|-----|--|-----|-----------------------------|--|--------------------|-------------------------|--------|---|--------------------|--------|--------|
| A | 50mライフル | 男子 三姿勢 120 発 | 1名 | 競技規則ライフルルール RR7. 9. 0 に定められたもの | 50m | 電子標的 (MEYTON 社製) | 本射 120 発とし、本射前 15 分間試射 を無制限で行える。ただし、伏射及び 立射姿勢で、本射に入る前に弾数無制 限の試射を行える | 2 時間 45 分 以内とする | 膝射、伏射、立 射の順に射撃 する | 1200 | | | | |
| B | | 男子 伏射 60 発 | 1名 | | | | | | | | 本射 60 発とし、試射は本射前 15 分 のみ無制限で撃つことが出来る | 50 分以内と する | 伏射 | 654. 0 |
| D | | 女子 三姿勢 60 発 | 1名 | | | | | | | | | | | |
| E | 10mエア・ ライフル | 女子 立射 40 発 | 1名 | 競技規則ライフルルール RR7. 9. 0 に定められたもの | 10m | 電子標的 (MEYTON 社製) | 本射 40 発とし、試射は本射前 15 分 のみ無制限で撃つことが出来る | 50 分以内と する | 立射 | 436. 0 | | | | |
| G | | 少年男子立 射 60 発 | 1名 | | | | | | | | 本射 60 発とし、試射は本射前 15 分 のみ無制限で撃つことが出来る | 1 時間 15 分 以内とする | 654. 0 | |
| D | 10mエア・ ピストル | 男子 60 発 | 1名 | 競技規則ピストルルール PR8. 11 に定められたもの | 10m | 電子標的 (MEYTON 社製) | 本射 60 発とし、試射は本射前 15 分 のみ無制限で撃つことが出来る | 1 時間 15 分 以内とする | | 600 | | | | |
| F | | 女子 40 発 | 1名 | | | | | | | | 本射 40 発とし、試射は本射前 15 分 のみ無制限で撃つことが出来る | 50 分以内と する | 400 | |
| H | ビーム・ ライフル | 少年男子 立射 60 発 | 1名 | 競技規則ライフルルール RR8. 11 (国内規定) に定めら れたもの | 10m | BR公認 標的装置 | 本射 60 発とし、試射は本射前 15 分 のみ無制限で撃つことが出来る | 45 分以内と する | 立射 | 654. 0 | | | | |
| J | | 少年女子 立射 40 発 | 1名 | | | | | | | | 本射 40 発とし、試射は本射前 15 分 のみ無制限で撃つことが出来る | 30 分以内と する | 436. 0 | |
| I | ビーム・ ピストル | 少年男子 40 発 | 1名 | 競技規則ピストルルール RR8. 11 (国内規定) に定めら れたもの | 10m | BR (デ ジタル) 公認標的 装置 | 本射 40 発とし、試射は本射前 15 分 のみ無制限で撃つことが出来る | 45 分以内と する | | 400 | | | | |
| K | | 少年女子 40 発 | 1名 | | | | | | | | 本射 40 発とし、試射は本射前 15 分 のみ無制限で撃つことが出来る | 45 分以内と する | 400 | |